

第四十一回 宗像歌会

平成二十八年三月十九日(土)

自由詠

歯医者が  
研磨する

ブラシの音が

シャープして フリットして

恐怖の音楽会

岡本 まさ子

題詠『期待』

花が終わっても  
いのちは

終わっていない

わたげ

とぶ とぶ

岡本 まさ子

「日本死ね!!!」の

メッセージ

若い母たちは怒ってる

つきつけられた

未来はあるのかと

宮島 かつえ

十年振りの

日本力士優勝

大いに沸く

笑顔と人柄に ほっこり

「綱とり」への希望 日本中が

大槻 幸子

何処に行くつもりなの？

誰かを探しているの？

老いて さまよう人有り

身内はご苦労

長寿大国の闇を知る

山本 香代

本当に寝ているようで

「おい、起きろよ」と

夫は言ったという。

友は(安らぎという希望)を

遺してくれた

高原 美智子

茜色の空が

明日への希望に繋がり

嫌な事

胸にしまい

また一歩

玉田 久美子

老い先は 案じられるけど

艱難<sup>かんなん</sup>辛苦を

乗り越えて来たんだもの

自分に希望を持って

ケ・セラ・セラ

山本 香代